



いおくニュース

IOKU NEWS

Vol. 97

2019年1月号 | January, 2019



NEWS

世界ランク110位 男女不平等の国、日本



ジェンダーギャップ指数を知っていますか？ 男女の格差の度合いを示すために世界経済フォーラムが毎年出している数値で、2018年度版が年末に発表されました。調査対象149カ国のうち、日本は**110位**。過去最低を記録した昨年(114位)より、4ランクUPも依然G7で最下位でした。この指数は、経済・教育・保健・政治の4分野14項目のデータを元に、各国の男女の格差を分析した指数です。一番良かった保健ですらも41位。良い印象の教

育は女性の大学進学率等で差があり65位。経済117位。この経済部門で、職場環境の若干の改善したことを挙げる一方で、「日本は依然として相対的に、男女平等が進んでいない**経済圏の1つ**」と指摘されました。

日本のランキング	
総合	110位
経済	117位
教育	65位
健康	41位
政治	125位
高等教育	103位
女性国会議員比率	10.10%

もっと詳しく中面へ

猪奥美里(いおくみさと)プロフィール

1980年奈良市秋篠町生まれ

平城小学校・平城中学校／ジーク高校(ドイツ)／奈良大学附属高等学校／立命館大学・立命館大学大学院(環境経済学専攻)／衆議院議員秘書

2011年奈良県議会議員初当選 2015年4月2期目当選

◆ 総務警察委員会 防災・県土強靱化対策特別委員会副委員長



データでみる! 奈良県政



今月のテーマ

都道府県の女性議員の数

● 都道府県議会における女性議員の比率(平成28年12月31日現在)

	都道府県	議員現員数(人)	女性議員数(人)	女性議員の比率(%)
1	京都府	59	12	20.3
2	東京都	127	25	19.7
3	滋賀県	43	7	16.3
4	神奈川県	105	17	16.2
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
22	奈良県	43	4	9.3
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
44	静岡県	69	3	4.3
45	山梨県	36	1	2.8
46	佐賀県	36	1	2.8
47	愛媛県	44	1	2.3

奈良県議会の女性議員は現在4人。割合で見ると全国中位。たった4人なのに、中位であるということはいかに少ないかを表しています。私が初めて選挙に立候補したとき、「政治なんて男の人がするものなのに…」と直接言われたことも一度や二度ではありません。一昨年には全国女性都道府県議会議員の会を超党派で立ち上げ、性暴力の課題や児童相談所の課題等連携し取り組みを行っています。



連絡先

奈良県西大寺北町1丁目1-16 岡本ビル103号
TEL 0742-53-1093 FAX 0742-53-1094

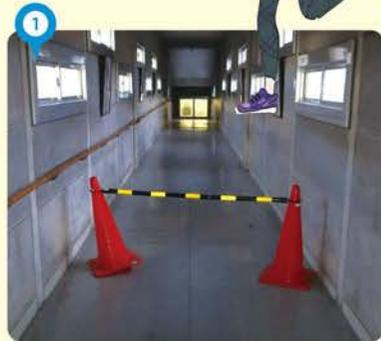
ポスティングのお願い

このいおくニュースは、いおくや事務所スタッフ、そしてボランティアの皆さんで手配りをしています。少力で結構ですので、お手伝いいただける方は、ご連絡ください。

今月のいおく



1日 (土)	しだらえみこ茨城県議候補応援
2日 (日)	梨木みれいスノーボード選手後援会設立総会、2018 ピース・フェスティバル
3日 (月)	奈良県エネルギービジョン推進協議会、シャープ奈良くらしの相談会
4日 (火)	立命館大学奈良県北部校友会忘年会、奈良高校視察①
5日 (水)	議会運営委員会、県議会代表質問、連合奈良の日
6日 (木)	議会運営委員会、県議会代表質問
7日 (金)	議会運営委員会、県議会一般質問、情報労連退職者会、北和地域協議会地域委員会
8日 (土)	県政報告会@梅ヶ丘②
9日 (日)	奈良マラソン③
10日 (月)	議会運営委員会、県議会一般質問
11日 (火)	政策検討会議、総務警察委員会
12日 (水)	休み
13日 (木)	議会運営委員会、県議会
14日 (金)	県議会閉会日、奈良県議会政策セミナー
15日 (土)	あいさつ回り
16日 (日)	敷島公民館エンターテイメントコンサート
17日 (月)	条例勉強会、私学助成に関する署名提出
18日 (火)	あいさつ回り
19日 (水)	JETRO 奈良貿易情報センター 開所記念レセプション
20日 (木)	あいさつ回り
21日 (金)	あいさつ回り
22日 (土)	国民民主党一区幹事会、松岡克彦奈良市議告別式、国民民主党奈良県連役員会
23日 (日)	お餅つき
24日 (月)	休み
25日 (火)	政策検討会議
26日 (水)	事務局会議
27日 (木)	休み
28日 (金)	あいさつ回り
29日 (土)	消防団激励
30日 (日)	消防団激励
31日 (月)	休み



奈良高校の親御さん有志、生徒さん学校の様子を伺いました。



支えていただいている地元梅ヶ丘にてこれまでの取組をご報告。様々なご意見も頂戴しました。



フルマラソン今年も(は?)無事に完走!みなさんありがとうございました!!

世

世界的にみて4分野の中で男女の差が特に開いているのが政治の分野で、次に経済が続きます。日本のも最も悪い分野は政治分野で125位。閣僚、大臣の少なさもとより、そもそも女性議員の数が圧倒的に少なく、国会議員男女比では、130位です。

ガラスの天井(能力や成果に係らず、昇進を妨げる見えない障壁)だけでなく、参入が非常に難しいことが分かります。医学部入試の女子学生減点問題もありました。「女性医師は出産や育児で辞めるので…」とコメントを臆面もなく出す驚き。能力のある女性が、望む場で活躍できるように制度を作っていくことがより切実に求められます。昨年5月、男女の候補者数を同数にするよう政党に求める「政治分野における男女共同参画推進法」が成立しました。女性が立候補するには、経済的、社会的、心理的な多くの壁が存在します。また女性が議員活動を続けていくための環境整備も遅れています。政治の分野は、意思決定の場への女性の参加が測られる指標です。「あなただから」「私だから」と能力や適性が活かせる社会を作っていきます。

PICK UP

クォーター制

国民の構成を反映させた政治ができるように、議員や委員の人数を制度として割り当てること。古くは農村と都市部との地域割り当てだったが、男女の差を解消するための割り当てを指すことが多い。ノルウェーが40年前に採用したのが最初で、国政選挙への導入は50カ国以上と広がる。OECD 30カ国の中で採用していない国は、日本含み4カ国のみ。

